

7月5日(月)

この戦いは主の戦いだ

聖書朗読 詩篇 33:16~22

「救いは、御座にある私たちの神にあり、子羊にある。」 黙示録 7:11

自分が乗り越えられない困難に直面していると感じたことはありますか？ 問題が大きすぎるように感じたことです。大きな試練に直面したとき、私たちがしなければならないのは神様を信頼することですが、それがなかなかできないことがあります。詩篇33篇16節の前半は、王の軍隊の規模はそれほど重要ではないと語っています。巨大なミデアン人の軍勢に対抗したギデオンとそのわずか300人の軍勢のことを覚えていませんか？ そうです、神様がギデオンとともにいてくださり、軍隊の規模は問題ではないのです。

16節の後半では、勇者の力の強さについて言及しています。ダビデとゴリヤテのことを覚えていますよね？ ゴリヤテの力は、神様に選ばれたしもべにとっては問題ではありませんでした。

主が私たちと共にいてくださるなら、私たちは十分に大きく、また十分に強いので、なにも心配する必要はありません。主は私たちの戦いを十分に備えてくださいます。私たちに必要なことは、ただ主を敬い、主に希望を置くことです。主は「わたしは決してあなたを離れず、あなたを捨てない。」(ヘブル13:5)と約束してくださっています。

神様は私たちを見守ってくださり、日々私たちが直面する試練から助けてくださり、守ってくださるお方です。神様を信頼して、神様が私たちにしてくださったこと、そしてこれからしてくださることを喜ぶことができますように。

讃美歌 448

祈り 親愛なる主よ。人生の試練に直面したとき、戦うことを嫌だと思わないようにしてください。あなたに目を向け、頼り、あなたの愛のうちに安らぐことができますように。

ジーナ・G・ゴードン

サウスカロライナ州 ミュレルズ・インレット、

今日の日

2021年7月5日～7月11日

翻訳 村越克子
浦部言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月6日 (火)

神様のいつくしみ

聖書朗読 詩篇 34 : 1~14

あなたのいつくしみは、なんと大きいことでしょう。あなたはそれを、あなたを恐れる者のためにたくわえ、あなたに身を避ける者のために人の子の前で、それを備えられました。 詩篇 31 : 19

毎日のように人に「どう調子は？ 元気？」と聞くと、たいていの場合「元気だよ。 I'm good」という返事が返ってきます。1日に何回そのフレーズを言うか数えたら、その合計に驚くかもしれません。神様が私たちのうちに内在してくださっているから、「元気です。good」と言っているのでしょうか。感謝のしるしでしょうか。それとも、別に善なるものとは関係のない、ただの今どきの返事なのでしょうか。善の定義は、道徳的に優れたもの、高潔、義、親切、相応しいものなどです。ガラテヤ人への手紙(5 : 22)では、善(goodness)は、聖霊が私たちの生活を支配するときに生(な)る御霊の実のひとつにあげられています。そして「すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。・・・父はみこころのままに、真理のことばをもって私たちをお生みになりました。私たちを、いわば被造物の初穂にするためなのです。」(ヤコブ1 : 17~18)。神様のいつくしみが私たちの生活の中にあられることで、私たちはそのいつくしみを受ける者ともなり、また神様のいつくしみを他の人たちに分け与える者ともなるのです。

詩篇34篇にある神様のいつくしみへの招きを受け入れましょう。聖霊に私たちの生活の中で「善意」の実を生らせていただいて、次に「元気です。」と返事するときには、表面上の挨拶ではなく、より深い意味で答えることができるようにさせてください。

讃美歌 506

祈り 親愛なる神様。あなたの永遠のいつくしみと恵みを感謝いたします。私たちのいのちの日の限り、心を尽くしてあなたを愛したたえることができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

プルーデンス・C・ウィリアムズ
フロリダ州 ジャクソンヴィル

7月7日 (水)

悲しむ者は幸いです

聖書朗読 詩篇35篇

「悲しむ者は幸いです。その人は慰められるからです。」 マタイ 5 : 4

今日の聖書の箇所、ダビデは、答えられない祈りを、友人や兄弟の死で経験する悲しみや、母の喪に服するときの泣き声にとえています。神様に何かを強く願う者は誰も、その切なる願いが答えられないように思えるときに、見捨てられたような気持ちになることを、遅かれ早かれ知るものです。

しかしイエス様は、山上の垂訓で、私たちが悲しむときに感じる慰めについてお話しになりました。もっと以前、賢王ソロモンは「祝宴の家に行くよりは、喪中の家に行くほうがよい。」(伝道者の書7 : 2)と言いました。

それなのにどうして、神様が私たちに喪中の家で過ごすようにされたとき、打ち砕かれた希望を嘆き悲しんで、絶望してしまうのでしょうか。まさにこういった状況にあつてこそ、私たちは神様を知り、神様により頼むことを理解することを学ぶのではないのでしょうか。イエス様という羊飼いに頼むというのはどういうことかが本当に分かるのは、自分がしばらくの間、見捨てられたと感じる時ではないでしょうか。

耐え忍ぶ力と、神様の祝福された喪中の家で我慢するときを感謝する知恵が与えられますように。

讃美歌 532

祈り お父様。あなたの聖なる喪中の家から何を学ぶべきかを理解し、そこで過ごさなければならない時間を大切にすることができるような見識をお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ケイ・バーナム・エヴァンス
テキサス州 ラボック

7月8日(木)

バランスのとれた生活

聖書朗読 詩篇 37

人の歩みは主によって確かにされる。主はその人の道を喜ばれる。

詩篇37：23

統計によると、ほぼすべての年齢層において病院で治療される致命的ではないケガの一番の原因は、うっかりした転倒であることが示されています。65歳以上の年齢層では、転倒する回数が若いグループの3倍になり、これらの転倒はしばしば死亡または生活の質の低下を引き起こします。

しかし、アメリカのように高齢者にとって転倒が問題ではない地域が、世界にはあります。そういった「ブルーゾーン(健康で長寿な人々が数多く居住する地域)」では、100歳を超えて健康に暮らす人の数が世界の他の地域を上回っています。これらの場所のいくつかでは、人々が毎日移動する地形がバランスのとれた生活につながっています。あるいはライフスタイルが関係している場合もあります。たとえば、沖縄のある地域には、昔ながらの古い家の多くには家具がほとんどなく、人々は床に座って布団で寝ます。起きたり座ったりすることで体が鍛えられ、身体のバランスが良くなり、転倒を防ぎます。

同じように、みことばのうちで立ち上がったたり、かがんだりすることで私たちのバランスが保たれます。善を行ない、悪から離れる練習をすることで、悪魔の手に落ちないように愛する神様によって守られます。心に神さまのみおしえがあるなら、私たちの歩みはよろけないのです(詩篇37：31)。

讚美歌 II 80

祈り 親愛なる主よ。日々、私たちの生活にもたらしくくださるバランスに感謝いたします。主よ、私がつまずいてあなたから離れ始めたとき、そのことを私に思い出させてください。私をあなたの確かな土台に戻してください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェス・パターソン
テキサス州 ラボック

7月9日(金)

進んでいく

聖書朗読 詩篇 39：1～9

兄弟たちよ。私は、自分はずでに捕らえたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。

ピリピ 3：13～14

ダビデは詩篇39篇で、正しく生きようとしてもそれを妨げるものがあると書いています。私たちも、それに共感できるのではないのでしょうか。ダビデは自分の舌で罪を犯さないために、悪者の前では沈黙を守りました。これは彼におそらく今まで以上に考える時間を与えましたが、同時に良いことさえ口にすることを辞めたことで、心の中で火が燃え上がったと言っています。

そして、彼は心の内を打ち明けますが、その言葉が賢明だったかどうか不安になっているようにみえます。もしかしたら、あなたも対立を避けるために黙っているべきだったか、それとも間違いと思うことについて、口答えされることを覚悟で発言すべきだったか、後になって迷うことがあると思います。しかし、何をすべきだったか考え続けることは時間の無駄遣いと言えます。パウロがピリピ人への手紙に書いているように、何をすべきだったかを思い煩うのではなく、したことを受け止め、したことがより良い方向に行くように神様に助けて頂き、進んでいくほうがいいのです。

限られた人生の中では、自分たちでは変えられないことに対してやきもきし続けるのではなく、必要なところに賢く時間やお金をかけていくことが大切なのです。代わりに「ただ公義を行い、誠実を愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むこと」(ミカ6：8)である大きなことに集中していきましょう。

讚美歌 讚美歌21 505

祈り 天のお父様、私たちが小さなことや想像する問題などにとらわれず、与えられた命を私たちのできる限りを尽くして、あなたとの永遠の時のために喜んで備えていけますようにお助けください。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

トラヴィス・アレン
コロラド州 センテニアル

7月10日(土)

忙しき

聖書朗読 詩篇46

やめよ。わたしこそ神であることを知れ。わたしは国々の間であがめられ、地の上であがめられる。
詩篇46:10

いつから私たちの社会はこんなに急ぐようになったのでしょうか。ほぼ毎日のように、誰かが忙しいと口にしてるのを耳にするように思います。忙しきに対する不満は、多くの場合悲しきではなく、多忙であることが美德であるかのように誇りを思っで発せられます。

あなたが最後に、窓辺に座って鳥のさえずりに耳を傾け、星が光りだすのを眺め、10分でも神様の声を聞こうとしたのはいつでしょうか。バイブルスタディや祈りの時があなたのやることリストの一つの項目になってはいないでしょうか。神様からの声かけに応える時間はありますか。

私たちの先祖は、農業や鉱業や商業に長い時間を費やしていました。しかし、おそらく意図的な生活のリズムの中で働き、一日の仕事の後は、休息を取り、神様と世界に目を向ける時間を取っていたことでしょうか。私は、私の祖父母や曾祖父母が厳しい生活の中でも、働き過ぎだったと聞いたことはありません。

私たちは、一度自分のスケジュールの中で、何が神様からのものなのか、何が自分や周りの人たちから課せられているものなのか見直す必要があります。これを行う時は、祈りをもって判断し、自分を正当化しないように気を付けなくてはなりません。もしかしたら、周りの人の期待に応えられなくなったり、給料の低い仕事に転職したりする必要が出てくるかもしれません。私たちの中の優先順位を変え、みこころにそったことでないことには、「それは出来ません」と言えることを学ぶ必要も出てきます。神様は私たちの心を求めておられます。

讃美歌 310

祈り 天のお父様、私たちの歩みを緩め、心を落ち着かせ、あなたの声が聴こえるようにしてください。社会の価値観ではなく、あなたの価値観に合わせた優先順位を持てるように助けてください。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

シャーロット・マイズ
テキサス州 ラボック

7月11日(日)

イエス様は変わらずにいてくださる

聖書朗読 詩篇46篇

それから、起き上がって、風と湖をしっかりとつけられると、大なぎになった。
マタイ 8:26

3人の子どもの母親、16年目の妻、姉、娘、孫、嫁、友達、時々自分が持つ役割の数に圧倒されます。やらなくてはいけないことが、自分の周りを竜巻のように渦巻いているように感じるときもあります。そのような、人生の渦巻きのなかにいるときでも、イエス様は今までと変わらず同じようにいてくださると希望を持っています。

イエス様の弟子たちが風と波に直面した時、彼らはイエス様に助けを求めました。イエス様は彼らの人生の風と波を鎮めてくださいました(マタイ8:23~27)。

イエス様は今も変わらず、同じようにいてくださいます。イエス様は私の変わり続ける世界の中の不変の存在なのです(詩篇46:1)。風や波を使い、私を鍛え、神様の望む形に整えてくださっているのです。私が、イエス様のようになろうとする時、イエス様は私を執り成し、神様からの恵みと知恵を受けられるようにしてくださっているのです。

私は、風と波の中においても静まることができます。それは、イエス様が今も変わらず、同じようにいてくださるからです。

讃美歌 280 または In Christ Alone

祈り 天の神様、あなたは私の拠り所。どんなときでも常に私と共にいてくださいます。私にあなたに近づけるように、私を近づけてください。ありがとうございます。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

サンデー・ドーリティ
カリフォルニア州 マリブ